

# 四半期報告書

(第69期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

リバーエレクトック株式会社

山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 ..... 1
- 2 事業の内容 ..... 2

### 第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク ..... 2
- 2 経営上の重要な契約等 ..... 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... 2

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 ..... 3
- (2) 新株予約権等の状況 ..... 3
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 ..... 3
- (4) ライツプランの内容 ..... 3
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 ..... 4
- (6) 大株主の状況 ..... 4
- (7) 議決権の状況 ..... 4

#### 2 役員の状況 ..... 4

### 第4 経理の状況 ..... 5

#### 1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 ..... 6
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... 8
  - 四半期連結損益計算書 ..... 8
  - 四半期連結包括利益計算書 ..... 9
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ..... 10

#### 2 その他 ..... 13

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 ..... 14

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第69期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551) 22-1211 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【最寄りの連絡場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551) 22-1211 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第2四半期連結 累計期間	第69期 第2四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	3,007,280	3,101,559	6,208,501
経常利益（千円）	36,037	93,874	134,709
四半期（当期）純利益（千円）	22,234	84,905	112,142
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	6,242	219,772	263,595
純資産額（千円）	2,882,148	3,337,159	3,132,129
総資産額（千円）	8,933,090	8,358,866	8,849,059
1株当たり四半期（当期）純利益金 額（円）	3.02	11.52	15.21
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（%）	32.3	39.9	35.4
営業活動によるキャッシュ・フロー （千円）	391,897	745,236	320,106
投資活動によるキャッシュ・フロー （千円）	△567,745	115,286	△1,212,727
財務活動によるキャッシュ・フロー （千円）	350,434	△912,359	861,353
現金及び現金同等物の四半期末（期 末）残高（千円）	872,514	695,985	705,701

回次	第68期 第2四半期連結 会計期間	第69期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純損益金額（△は 損失）（円）	1.57	△0.92

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融緩和や政府の経済政策を背景に底堅く推移しておりますが、実体経済への波及はまだ十分ではなく、来春の消費税増税による個人消費への影響や海外経済の下振れリスクもあり、依然として先行き不透明感が残る状況で推移しております。

当社グループが属する電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレットといった移動体通信機器向けは好調な需要を持続しているものの、他方スマートフォン等の多機能化の影響を受けたテレビ、パソコン、デジタルカメラ向けといった民生機器向け需要は低迷しました。

このような環境のなかで当社グループは、スマートフォン等の移動体通信機器向けの販売が堅調に推移したほか、為替の円安効果もあり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,101,559千円（前年同期比3.1%増）、営業利益は人件費や減価償却費等の固定費の増加により9,508千円（同77.5%減）、経常利益は為替差益の計上もあり93,874千円（同160.5%増）、四半期純利益は84,905千円（同281.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (水晶製品事業)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前年同期比
	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	
売上高	2,956,335千円	3,060,513千円	3.5%
セグメント（経常）利益	35,273千円	98,710千円	179.8%

水晶製品事業は、スマートフォン及び無線モジュール向けにおいて市場競争が激化しているものの、需要は引き続き好調を持続した一方、パソコン、デジタルカメラなどの市場縮小傾向に伴い、民生機器向けの需要が低調に推移しました。

以上の結果、水晶製品事業の売上高は3,060,513千円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は98,710千円（前年同期比179.8%増）となりました。

#### (その他の電子部品事業)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前年同期比
	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	
売上高	50,945千円	41,046千円	△19.4%
セグメント（経常）利益又は損失 （△）	764千円	△4,835千円	－%

その他の電子部品事業は、平均販売価格の上昇や為替の円安効果もありましたが、抵抗器の生産縮小及びインダクタの生産終了により、販売数量が半減した影響が大きく、収益性は低下しました。

以上の結果、その他の電子部品事業の売上高は41,046千円（前年同期比19.4%減）、セグメント損失は4,835千円（前年同期は764千円のセグメント利益）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ9,715千円減少し695,985千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は745,236千円（前年同期は391,897千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益93,408千円、減価償却費332,595千円、賞与引当金の増加107,556千円、売上債権の減少342,101千円、たな卸資産の増加114,431千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は115,286千円（前年同期は567,745千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出490,983千円、定期預金による払戻による収入620,090千円、有形固定資産取得による支出10,105千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は912,359千円（前年同期は350,434千円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の減少（純額）232,479千円、長期借入金の返済による支出557,207千円、長期未払金返済による支出85,506千円、配当金の支払額14,427千円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は97,459千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数（株） （平成25年9月30日）	提出日現在発行数（株） （平成25年11月14日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,492,652	7,492,652	東京証券取引所 JASDAQ （スタンダード）	単元株式数 100株
計	7,492,652	7,492,652	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	7,492,652	—	1,070,520	—	957,810

## (6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
若光株式会社	山梨県韮崎市旭町上條北割2314	1,223,368	16.33
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-10	321,800	4.29
株式会社山梨中央銀行	山梨県甲府市丸の内1丁目20-8	268,000	3.58
若尾 富士男	栃木県宇都宮市	198,700	2.65
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川4丁目12-3	197,400	2.63
リバー従業員持株会	山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1-11	169,143	2.26
若尾 磯男	山梨県韮崎市	165,100	2.20
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行 株式会社)	東京都千代田区丸の内1丁目3-3 (東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイラ ンドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	150,000	2.00
持原 和則	山梨県甲斐市	130,000	1.74
若尾 亘	山梨県甲府市	128,158	1.71
計	—	2,951,669	39.39

## (7) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 121,100	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,369,900	73,699	—
単元未満株式	普通株式 1,652	—	—
発行済株式総数	7,492,652	—	—
総株主の議決権	—	73,699	—

## ② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
リバーエレクトック株式会社	山梨県韮崎市富士見ヶ 丘二丁目1番11号	121,100	—	121,100	1.62
計	—	121,100	—	121,100	1.62

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,382,842	1,278,485
受取手形及び売掛金	* 1,696,688	1,428,869
商品及び製品	377,933	530,297
仕掛品	388,420	388,992
原材料及び貯蔵品	735,602	731,960
繰延税金資産	2,384	14,575
その他	210,224	133,062
貸倒引当金	△6,380	△6,956
流動資産合計	4,787,716	4,499,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	483,658	483,050
機械装置及び運搬具（純額）	2,548,116	2,536,969
工具、器具及び備品（純額）	64,739	63,575
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	17,640	15,172
建設仮勘定	241,620	25,009
有形固定資産合計	3,771,204	3,539,208
無形固定資産		
ソフトウェア	3,387	3,707
その他	13,105	12,155
無形固定資産合計	16,492	15,863
投資その他の資産		
投資有価証券	142,269	164,446
破産更生債権等	74,500	82,250
その他	133,627	142,211
貸倒引当金	△76,750	△84,400
投資その他の資産合計	273,646	304,507
固定資産合計	4,061,343	3,859,578
資産合計	8,849,059	8,358,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	794,512	809,266
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	1,094,359	866,601
1年内返済予定の長期借入金	922,381	666,422
未払法人税等	12,628	15,491
賞与引当金	39,486	147,042
設備関係支払手形	75,961	81,371
その他	358,442	330,153
流動負債合計	3,337,772	2,956,349
固定負債		
社債	160,000	140,000
長期借入金	1,665,123	1,363,875
繰延税金負債	3,596	10,211
退職給付引当金	212,188	212,137
役員退職慰労引当金	97,650	105,000
長期未払金	227,891	223,978
その他	12,707	10,156
固定負債合計	2,379,157	2,065,358
負債合計	5,716,930	5,021,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,374,255	1,444,417
自己株式	△17,779	△17,779
株主資本合計	3,384,806	3,454,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,015	18,292
為替換算調整勘定	△258,692	△136,101
その他の包括利益累計額合計	△252,676	△117,809
純資産合計	3,132,129	3,337,159
負債純資産合計	8,849,059	8,358,866

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,007,280	3,101,559
売上原価	2,320,437	2,402,601
売上総利益	686,843	698,957
販売費及び一般管理費	※ 644,658	※ 689,448
営業利益	42,184	9,508
営業外収益		
受取利息	1,245	876
受取配当金	1,243	1,267
為替差益	—	100,208
その他	16,730	4,414
営業外収益合計	19,219	106,767
営業外費用		
支払利息	17,714	16,129
社債利息	—	409
為替差損	5,251	—
その他	2,400	5,863
営業外費用合計	25,366	22,402
経常利益	36,037	93,874
特別利益		
固定資産売却益	175	—
特別利益合計	175	—
特別損失		
固定資産売却損	—	171
固定資産除却損	95	294
退職特別加算金	125	—
特別損失合計	220	465
税金等調整前四半期純利益	35,992	93,408
法人税、住民税及び事業税	13,031	20,693
法人税等調整額	725	△12,190
法人税等合計	13,757	8,503
少数株主損益調整前四半期純利益	22,234	84,905
四半期純利益	22,234	84,905

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,234	84,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,533	12,276
為替換算調整勘定	17,541	122,590
その他の包括利益合計	△15,992	134,867
四半期包括利益	6,242	219,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,242	219,772

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	35,992	93,408
減価償却費	288,490	332,595
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	47,006	107,556
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,347	△51
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△36,830	7,350
受取利息及び受取配当金	△2,488	△2,127
支払利息	17,714	16,539
為替差損益 (△は益)	47	△26
有形固定資産売却損益 (△は益)	△175	171
有形固定資産除却損	95	294
売上債権の増減額 (△は増加)	42,706	342,101
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△263,488	△114,431
仕入債務の増減額 (△は減少)	219,294	△94,645
未収入金の増減額 (△は増加)	7,753	27,341
未払金の増減額 (△は減少)	2,199	△792
その他	50,636	64,215
小計	416,331	779,488
利息及び配当金の受取額	2,485	2,076
利息の支払額	△17,438	△18,326
法人税等の支払額	△9,480	△18,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	391,897	745,236
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△425,646	△490,983
定期預金の払戻による収入	489,016	620,090
有形固定資産の取得による支出	△628,164	△10,105
有形固定資産の売却による収入	628	157
無形固定資産の取得による支出	—	△226
投資有価証券の取得による支出	△3,221	△3,289
その他	△358	△357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△567,745	115,286
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	269,591	△232,479
長期借入れによる収入	500,248	—
長期借入金の返済による支出	△373,679	△557,207
社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得による支出	△13	—
配当金の支払額	△14,743	△14,427
長期未払金の返済による支出	△28,912	△85,506
リース債務の返済による支出	△2,057	△2,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	350,434	△912,359
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,381	42,120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	181,967	△9,715
現金及び現金同等物の期首残高	690,546	705,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 872,514	※ 695,985

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末満期手形

四半期連結会計期間末満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	3,766千円	—

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当等	213,346千円	223,754千円
賞与引当金繰入額	27,801	39,039
退職給付費用	7,724	8,153
役員退職慰労引当金繰入額	3,910	7,350
研究開発費	84,814	97,459
減価償却費	6,426	10,026

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,461,195千円	1,278,485千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△588,681	△582,499
現金及び現金同等物	872,514	695,985

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	14,743	2.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	7,371	1.0	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	14,743	2.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	7,371	1.0	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,956,335	50,945	3,007,280	3,007,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,956,335	50,945	3,007,280	3,007,280
セグメント利益	35,273	764	36,037	36,037

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	36,037
四半期連結損益計算書の経常利益	36,037

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,060,513	41,046	3,101,559	3,101,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,060,513	41,046	3,101,559	3,101,559
セグメント利益又は損失 (△)	98,710	△4,835	93,874	93,874

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	93,874
四半期連結損益計算書の経常利益	93,874

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3円02銭	11円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	22,234	84,905
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	22,234	84,905
普通株式の期中平均株式数(株)	7,371,525	7,371,504

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………7,371千円

(ロ) 1株当たりの金額……………1円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成25年12月9日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

リバーエレテック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩渕 道男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 諏訪部 修 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 天野 清彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリバーエレテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リバーエレテック株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役若尾富士男は、当社の第69期第2四半期（自平成25年7月1日 至平成25年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。